

編集 後記

B5版の日本公衆衛生雑誌はこの号が最後で、次号からはA4版の大きさになります。見慣れた大きさの最後の号になるのかと思い、手もとにある古い冊子をいくつか出して眺めてみました。1991年のものが出てきました。平成3年はバブル景気の終焉の時期です。そして、38巻9号の論壇には平山朝子先生の「看護婦・保健婦問題」という記事が最初にあり、目に留まりました。私は「看護婦・保健婦が社会に貢献できるような看護学教育が期待されている」という趣旨の文章にマーカーを引いていました。1991年の看護系大学数は9校で翌年から増加に転じ、1993年からは急激な増加が始まりました。つまり、看護教育の大きな転換期にこの論壇があったわけです。看護系大学は2007年4月現在で158大学となっており、教育の質が問われ、社会への責任を考えなければいけない次の転換期にあるのではないかと思います。公衆衛生は現在の問題と共に将来の問題を見据えて取り組むことが必要です。1991年のころと比べますと、インターネットの発達で情報量が格段に増えました。そのような時代であるからこそ、学会誌は、会員に有意義で、かつ社会に貢献する情報を提供するという役割がますます求められるのだということを16年前の論壇を読んで、改めて感じました。
(荒木田美香子)

次号予告 (第55巻・第1号)

原 著

医学生に対する行動科学に基づく睡眠改善教育プログラムの作成とその効果……上田真寿美, 他

資 料

福岡市とその近郊に居住する者の性別・年齢階級別における体力レベルの実態と加齢変化ならびに評価基……松原建史, 他
単純無作為抽出法を用いた高齢者インフルエンザ予防接種の費用・接種率の調査およびその研究デザインの有用性……星 淑玲, 他
男子学生における喫煙と食生活状況および食生活に対する意識との関連性について

……曾我部夏子, 他
高齢者の町施設利用の関連要因分析
介護予防事業参加促進にむけた基礎的研究
……平井 寛, 他

連 載

臨床経済学の基礎(7)……大久保一郎
高齢者保健・福祉(5)……芳賀 博

第54巻11号につきまして下記のとおり訂正願います。

表紙 臨床疫学の基礎(5) → 臨床経済学の基礎(5)

P. 818 : 12号予告 臨床疫学の基礎(6) → 臨床経済学の基礎(6)